



教 成 館

関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るい子ども
- きまりを守り、助け合う子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

備えあれば憂いなし～シェイクアウト訓練～

6 月 13 日（金）「一関市シェイクアウト訓練」に参加しました。
シェイクアウト訓練は、2008 年にアメリカで始まった地震防災訓練で、その場で DROP！（まず低く）、COVER！（頭を守り）、HOLD ON！



（動かない）という安全を確保する 3 つの行動を取る訓練です。一関市では 2008 年に発生した岩手・宮城内陸地震の教訓を風化させず、市民の防災力の向上を図ることを目的に、岩手・宮城内陸地震が発生した 6 月 14 日、午前 8 時 43 分に実施（今年度は 6 月 14 日が土曜日のため、6 月 13 日に実施されました。）しており、当日は FM あすもの「地震発生！」という告知放送を合図に一齐に 1 分間の安全確保行動を取りました。

教室の子供たちは、一齐に

机の下に隠れ、机の脚をしっかりと握って揺れが収まるのを待ちました。素早い安全確保行動でした。地震の揺れ自体でけがをすることは滅多にありません。地震による死傷例の大半は、家屋の倒壊や家具の転倒、ガラスの破片や落下物が原因です。各ご家庭におかれましても「周囲の落下危険の確認、家具等の転倒防止、災害時の集合、避難場所の確認」を実施する等、安全確保についてよろしくお願いします。



非常食「救給カレー」初体験～子供たちには好評でした～

6 月 18 日（水）の給食は、「救給カレー」でした。非常食である「救給カレー」は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災での教訓をもとに考えられたもので、電気、ガス、水道が止まってしまった状態でもそのままおいしく、さらに食物アレルギーがある人も食べられるように作られています。ライフラインが途絶えた中で、救援物資が届くまでの 72 時間の間「命をつなぐ」ための非常食として、全国の栄養教諭・学校栄養職員の手によって開発された「救給カレー」は、外見は市販されているレトルトカレーですが、中には具材とご飯が入っていて、子供たちはかき混ぜながらおいしそうに食べていました。

政府の地震調査委員会は、宮城県沖を震源とする大地震が 30 年以内発生する確率を 80% から 90% と予測しています。大地震はいつ起こるかわかりません。食事の備えは心の安心にもつながります。ご家庭でも最低 3 日分の非常食を考えてみてはいかがでしょうか。

